

## 『標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学 第2版』 正誤表

このたびは『標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学 第2版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。第1刷（2021年3月1日発行）におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2021年3月4日作成 2022年10月4日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載																																												
1	p15 表1-2 4. pharyngeal stage 咽頭期	摂食の第4段階は、食塊をすばやく送り込みつつ気道を確保することである。この働きは、喉頭の前上方への移動、声門の閉鎖、蠕動、輪状咽頭筋の収縮によって達成される	摂食の第4段階は、食塊をすばやく送り込みつつ気道を確保することである。この働きは、喉頭の前上方への移動、喉頭の閉鎖、咽頭収縮筋の連続的収縮、輪状咽頭筋の弛緩などによって食塊が咽頭から食道へ移送される。咽頭期の終わりには喉頭が安静時の位置に下がり、輪状咽頭筋が収縮する	2022/6/8																																												
1	p15 表1-2 5. esophageal stage 食道期	喉頭が安静時の位置に下がり、輪状咽頭筋が弛緩すると、摂食の第5段階に入る。食塊は、重力と蠕動運動によって食道の3つの部分を通して胃へと送り込まれる	食道期には、食塊は、重力と蠕動運動によって食道の3つの部分を通して胃へと送り込まれる	2022/6/8																																												
1	p57 図2-13	ステント付きホツツ床	閉鎖床	2021/3/4																																												
1	p69 Note17 1行目	穿底枝	穿通枝	2021/4/22																																												
1	p71 右段最終行～p72 左段1行目	失調症状	失行	2021/4/22																																												
1	p75 図2-22	温痛覚障害（左顔面・左上下肢・体幹）	温痛覚障害（左顔面・右上下肢・体幹）	2021/11/25																																												
1	p75 図2-22	左眼面神経麻痺	左顔面神経麻痺	2021/11/25																																												
1	p75 図2-22	左眼面痛（中枢性）	左顔面痛（中枢性）	2021/11/25																																												
1	p220 表5-27 摂食状態 (ESS)	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>5</td><td>経口ー調整</td><td>無</td><td>医学的安定性</td></tr> <tr><td>4</td><td>経口ー調整</td><td>要</td><td>A 安定</td></tr> <tr><td>3</td><td>経口&gt;経管</td><td></td><td>B 不安定</td></tr> <tr><td>2</td><td>経口&lt;経管</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>経管</td><td></td><td></td></tr> </table>	5	経口ー調整	無	医学的安定性	4	経口ー調整	要	A 安定	3	経口>経管		B 不安定	2	経口<経管			1	経管			<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th colspan="2">摂食状態</th><th colspan="2">医学的安定性</th></tr> <tr><td>5</td><td>経口ー調整</td><td>無</td><td>A 安定</td></tr> <tr><td>4</td><td>経口ー調整</td><td>要</td><td>B 不安定</td></tr> <tr><td>3</td><td>経口&gt;経管</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>経口&lt;経管</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>経管</td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">〔才藤栄一：摂食・嚥下障害の治療戦略。リハ医学, 41: 404-408, 2004〕</p>	摂食状態		医学的安定性		5	経口ー調整	無	A 安定	4	経口ー調整	要	B 不安定	3	経口>経管			2	経口<経管			1	経管			2022/10/4
5	経口ー調整	無	医学的安定性																																													
4	経口ー調整	要	A 安定																																													
3	経口>経管		B 不安定																																													
2	経口<経管																																															
1	経管																																															
摂食状態		医学的安定性																																														
5	経口ー調整	無	A 安定																																													
4	経口ー調整	要	B 不安定																																													
3	経口>経管																																															
2	経口<経管																																															
1	経管																																															
1	p296 右段13行目 2) のどのアイスマッサージ「方法」前段	方法：凍らせた綿棒（アイス棒）に水をつけて表面を溶かし、まず口腔内を潤したのち、嚥下誘発部位である軟口蓋、舌根部、咽頭後壁などに軽い触圧刺激を加え、空嚥下させる。 特に偽性球麻痺では……	方法：凍らせた綿棒（アイス棒）に水をつけて表面を溶かし、いきなり喉の奥を刺激せず、まず口唇、舌、口蓋と前方から軽く押すようにして湿潤させながら刺激したのち、嚥下誘発部位である軟口蓋、舌根部、咽頭後壁などに軽い触圧刺激を加え、空嚥下させる。なお、催吐反射(gag reflex)が強い場合には無理に行わない。 特に偽性球麻痺では……	2022/6/8																																												